

令和元年度

大牟田市議会

議会報告会

## 報告内容

- 大牟田市庁舎の整備について
- 市議会において平成30年度中に  
取り組んだ事例

# 大牟田市庁舎の整備について

大牟田市公式キャラクター  
ジャー坊



世界遺産  
World Heritage

明治日本の産業革命遺産  
三池炭鉱関連資産

世界遺産のまち 大牟田へようこそ

Miike  
Coal  
Mine

# 庁舎が抱える課題（主なもの）

1 建物や設備の  
老朽化が進行



2 建物が分散し、分  
かりにくい



3 バリアフリー化や  
省エネ化が不十分



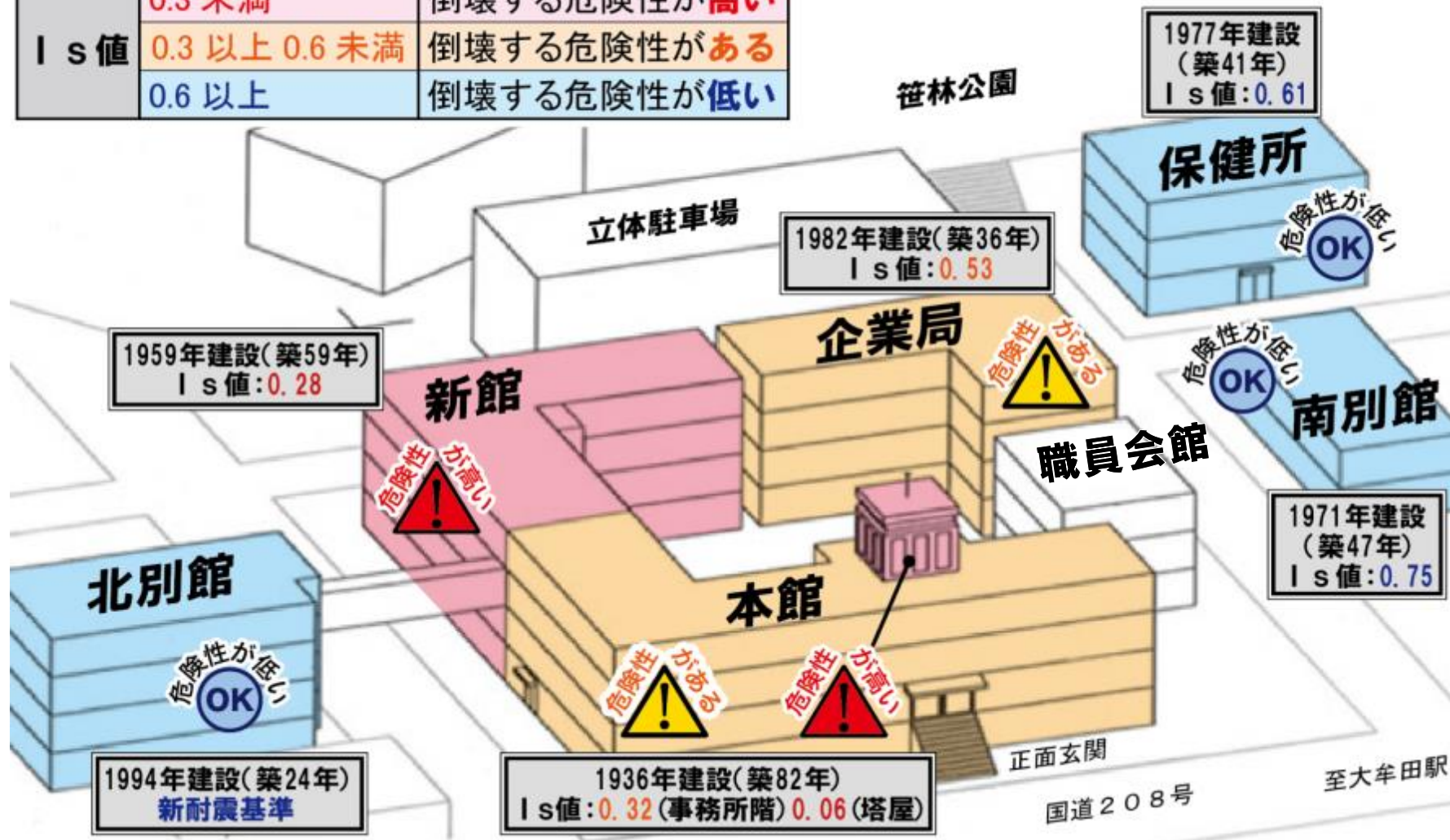
4 窓口や相談の  
スペースが狭い



# 耐震性能に関する調査結果

Is値：震度6強の地震に対する建物の耐震性能を表す指標

Is値	0.3未満	倒壊する危険性が <b>高い</b>
	0.3以上0.6未満	倒壊する危険性が <b>ある</b>
	0.6以上	倒壊する危険性が <b>低い</b>



(平成28年度大牟田市庁舎耐震診断調査より)

# 庁舎整備に関する近年の主な動き

年度	主な動き
平成27年度	まちづくり総合プランアクションプログラムにおいて「庁舎整備の検討」を平成31年度事業とした。
平成28年度	4月に発生した熊本地震を契機に、「庁舎整備の検討」(耐震診断及び現況調査)を前倒しして実施。
平成29年度	整備手法別(改修、建替え等)のモデルケースによるシミュレーションを実施し、庁舎整備の論点を整理。

# 庁舎の抱える耐久・機能性の課題

<b>耐久性に関する課題</b>	庁舎の <b>耐震性能</b> の確保
	建物及び設備の <b>老朽化への対応</b> と性能の向上
<b>市民サービスに関する課題</b> ※来庁者視点	<b>分かりやすく、移動の負担が少ない</b> 庁舎への改善
	来庁者の <b>プライバシー</b> の確保
	<b>高齢者や障害者等</b> が利用しやすい庁舎への改善
	<b>駐車場の安全対策</b> や利便性の向上
<b>業務遂行に関する課題</b> ※職員視点	業務内容に応じた <b>執務環境</b> の改善
	<b>災害発生時</b> にも業務継続可能な機能・性能の確保

# 平成30年度の主な取り組み

## 1. 各種アンケート調査

(市民、団体、インターネットによるアンケート調査)

期間: 6月21日～7月10日

※市民アンケート調査: 送付2,000名、回収率51.6%



## 2. 団体説明会

期間: 6月25日～7月20日(5団体)



## 3. 意見交換会

期間: 7月5日・7月17日(2回)



## 4. 庁舎整備検討委員会

(附属機関)

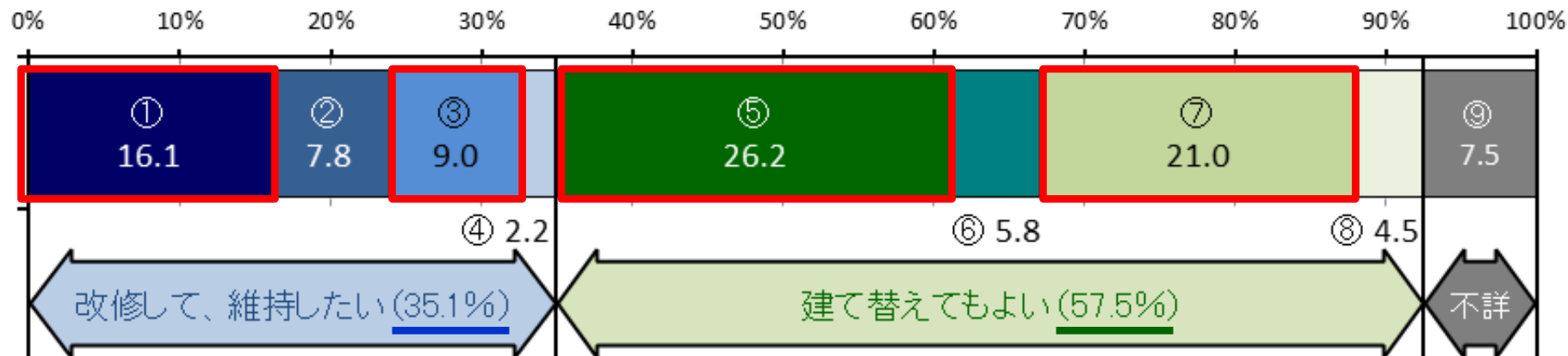
期間: 5月30日～10月3日(全6回)

### 【諮問事項】

- ① 庁舎に求められる機能について
- ② 整備手法(本館の取扱いを含む)について
- ③ 建て替えの際の建設場所について
- ④ その他、整備手法等を決定するにあたり必要なことについて



# 市民アンケート（本館の整備手法及びその選択理由）



本館の整備手法  
「改修して、  
維持したい」

- ①歴史的価値が高いと思うから
- ②まちのシンボルだと思うから
- ③改修の方が、整備費用が安いと思うから
- ④その他(理由不詳含む)

**対象:** 無作為抽出による18歳以上の市民2,000名  
**期間:** H30年6月21日～7月10日  
**回収:** 1,032 (51.6%)

本館の整備手法  
「建て替えても  
よい」

- ⑤建て替えると庁舎の機能(防災拠点やバリアフリー化等)が向上すると思うから
- ⑥新しい庁舎になれば、まちのイメージを変えることができると思うから
- ⑦建替えの方が、今後の改修・維持管理費用が安いと思うから
- ⑧その他(理由不詳含む)
- ⑨本館の整備手法: 不詳



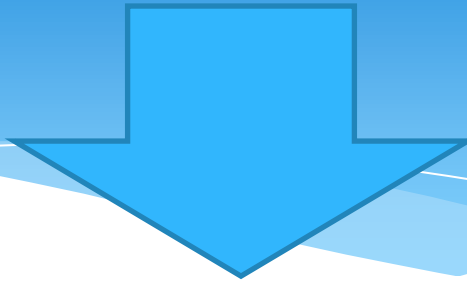
# 大牟田市庁舎整備検討委員会

## 委員会名簿

委員氏名	選出団体等	役職
糸永 一平	大牟田商工会議所	副委員長
上田 由起子	公募による市民	
大森 洋子	久留米工業大学	委員長
川満 佳代子	社会福祉法人 大牟田市社会福祉協議会	
椎葉 緑	大牟田レディースモニター	
田中 希祐	公募による市民	
田上 健一	九州大学	
中野 博	大牟田市校区コミュニティ連絡協議会	
平林 進	(公社)福岡県宅地建物取引業協会 県南支部	
古野 達也	一般社団法人 大牟田青年会議所	

50音順

# 大牟田市庁舎整備検討委員会からの答申

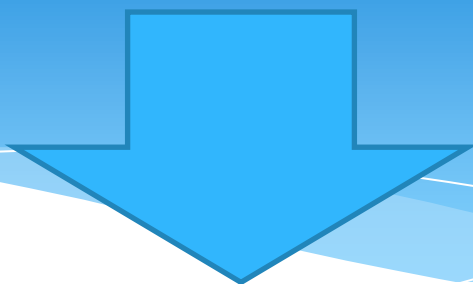


## ① 庁舎に求められる機能について

- ・ 耐震性の確保、セキュリティ機能、来庁者のプライバシーの確保等、市民の安全・安心を確保できる機能

- ・ 誰もが利用しやすいバリアフリー化機能
- ・ 効率的に市民サービスを提供できる機能
- ・ 地球環境にやさしい機能
- ・ その他まちづくり活動や文化的活動等を支援する機能

# 大牟田市庁舎整備検討委員会からの答申



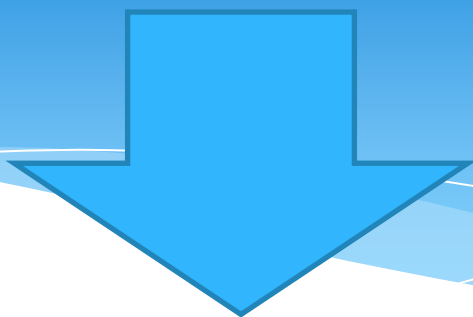
## ②整備手法（本館の取扱いを含む）について

- ・耐震性能を有していない新館は、建替えが望ましく、耐震性能を有している南別館、北別館は、当面の間、維持することが望ましい。
- ・保健所及び築80年以上経過している本館は、結論を出すまでには至りませんでした。

## ③建て替えの際の建設場所について

- ・公共交通の利便性の確保や都市機能集約化の観点から、現在地が最も適切、現在地以外であれば、笹林公園等の現在地周辺の市有地や再編後の学校敷地

# 大牟田市庁舎整備検討委員会からの答申



## ④ その他整備手法等を決定するにあたり必要なことについて

- ・ 庁舎整備の検討をできるだけ速やかに進めるとともに総事業費の圧縮や各種財源の活用を図りながら、本館について、維持や他の用途での活用の可能性についても検討するよう要望されました。

○平成31年2月12日（火）全員協議会  
・大牟田市庁舎整備に関する基本方針（案）について



# 基本方針（案）「庁舎が備えるべき機能」

将来にわたり市役所の事務を円滑に実施できるよう、以下の機能を備えた庁舎の整備を目指すこととする。

- 1 庁舎の安全を確保し、  
**災害対策の拠点**となる機能
- 2 来庁者に分かりやすく、効率的に  
**市民サービス**を提供できる機能
- 3 **バリアフリー化**などに対応した  
誰もが利用しやすい機能
- 4 高い**セキュリティ**と来庁者の  
**プライバシー**が確保できる機能
- 5 **環境負荷**を抑える機能

（福岡県飯塚市の1階窓口の様子）

総合案内



窓口



※市民利用の多い窓口を低層階に集め、分かりやすく、効率的な市民サービスの提供が行われている。

# 基本方針（案） 「整備手法」

庁舎が備えるべき機能の確保を目指し、現在地で整備することをふまえ、各庁舎等の整備手法を以下のとおり定める。 **【ケース2】**

- 1 本館及び新館 **: 建替え**
- 2 北別館・南別館・保健所 **: 当分の間使用**
- 3 企業局庁舎、職員会館 **: 建替えや移転等を検討**

# 基本方針（案）「庁舎の位置」

- 将来にわたり、まちづくりの拠点となることが期待される
- 公共交通の利便性が高く、分かりやすい場所である
- 継続使用する庁舎との往来がしやすい



**現在地**において庁舎を整備することとする。



# 庁舎整備に関するモデルケースの比較

## ケース1

### 一部改修・一部現地建替え (本館は改修)

・・・本館等を改修し新庁舎を建設するケース

## ケース2

### 現地建替え・一部改修 (本館は解体)

・・・本館等を解体し新庁舎を建設するケース

# ケース1：一部改修・一部現地建替え（本館は改修）

本館等を改修し  
新庁舎を建設するケース



事業期間	<b>約10年</b> (新庁舎建設・本館改修は、約6年)	
整備費用(概算)	<b>76.3億円</b> (本館改修分は、約24.8億円)	
次の整備手法を決めるまでの期間	<b>約20年</b> (本館改修後) <b>約75年</b> (新庁舎建設後)	
年あたり費用	<b>約5.5億円/年</b>	
「庁舎が備えるべき機能」の確保	<b>一部確保可</b>	耐震性能は向上するが、バリアフリー等の課題解決が一部困難(本館)

- ◆ケース2と比較して、窓口の集約化を行うための1階面積が小さい。
- ◆登録有形文化財である本館が維持できる。
- ◆本館は、バリアフリー化や分かりにくさなどの課題を抱えるため、人的な対応が継続的に必要。

- 仮移転を減らすため、まず企業局から順に解体し、新庁舎(1期)を建設。
- その後、新館を解体し、新庁舎(2期)を建設。

# ケース2：現地建替え・一部改修（本館は解体）

**本館等を解体し  
現在地に新庁舎を建設するケース**

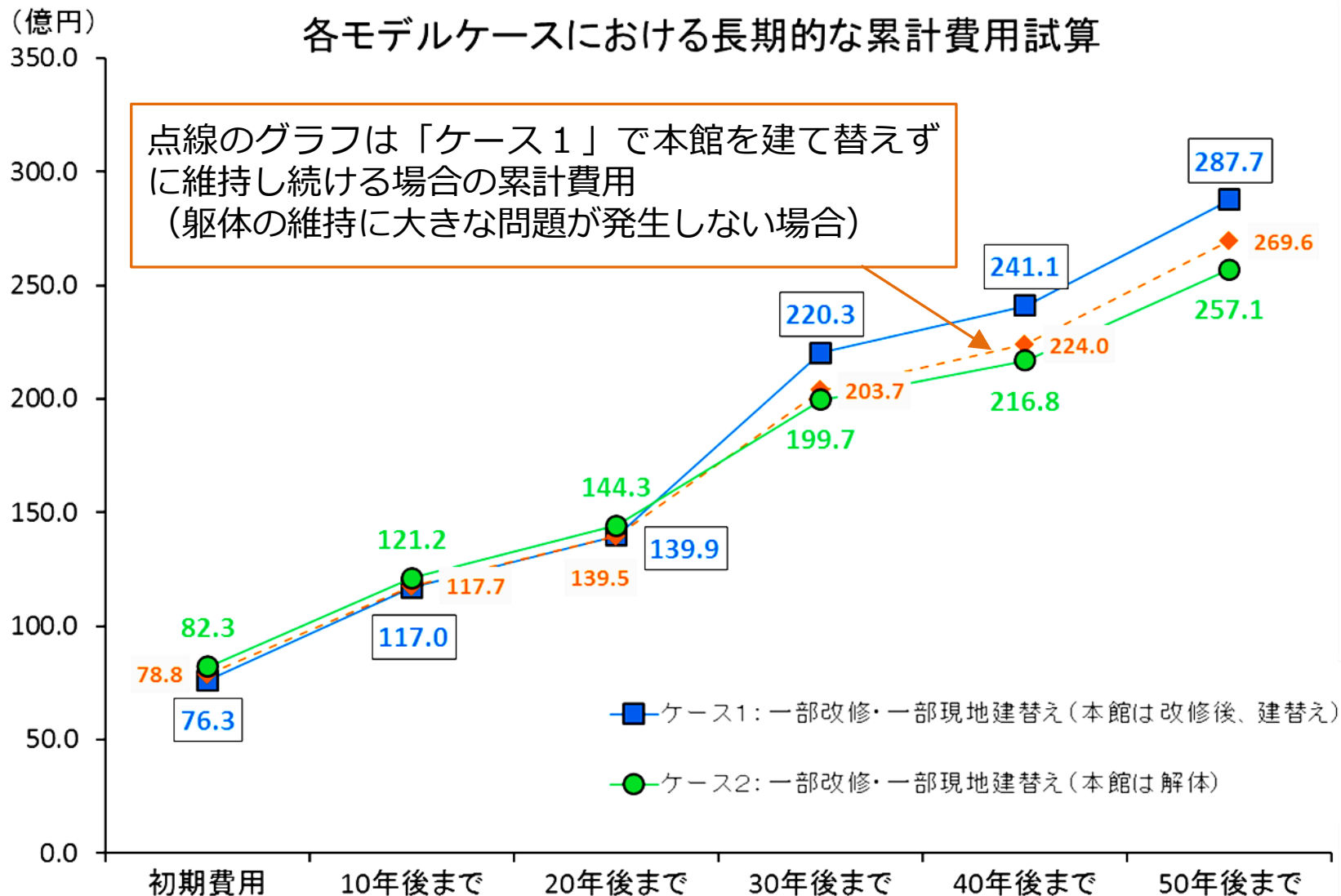


事業期間	約10年 (新庁舎建設は約4年)	
整備費用(概算)	82.3億円	
次の整備手法を決めるまでの期間	約75年	
年あたり費用	約4.7億円/年	
「庁舎が備えるべき機能」の確保	確保可	耐震性能の向上やバリアフリー等の課題がほぼ解決

- ◆ケース1と比較して、1階における窓口の集約化が図られるが、床面積に制約があるため、配置やレイアウト上の工夫は必要。
- ◆通路橋の設置により、北別館との接続が可能。
- ◆平面駐車場の設置により、現在の立体駐車場は、臨時駐車場として使用することができる。

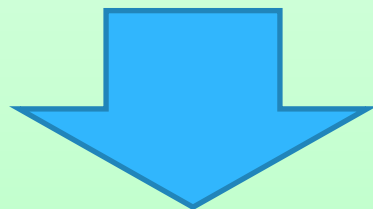
※企業局及び職員会館を解体し、新庁舎(1期)を建設。  
 ※その後、新館を解体し、新庁舎(2期)を建設。

# 今後50年間の費用の見込み



## 平成31年度一般会計予算を修正

- ・市長から提案された平成31年度の一般会計予算について、歳出の総務管理費を1,600万円減額し、その減額分1,600万円を同じく歳出の予備費に加える修正を行いました。



【歳出】

単位 千円

予算項目	修正後の予算額	修正額
総務管理費	2,917,438	△16,000
予備費	26,000	16,000

- ・具体的には、庁舎整備事業費を削減したものです。

## 平成31年度一般会計予算 修正の理由と関係条例案の否決

今後も見込まれる厳しい財政状況の中、市民とともに乗り越えるには、市民との信頼関係が不可欠ですが、現在提案の市庁舎整備に関する基本方針案は、一定の理解ができるものの、市庁舎本館の取り扱いを含め、十分な市民理解を得ているとは言えません。

また、より具体的かつ客観性の高い調査・研究など、さらなる検討が必要と考えることから、現時点においては、この方針案に基づく事業の推進を了承しがたいとして31年度予算に計上された庁舎整備事業費を削減しました。

さらに、関係する審議会の設置条例案を否決しました。

## 2月議会以降の市当局の対応

「これまでの検討経過や基本方針（案）」の内容について市民の理解を深めることを目的に意見交換会・説明会を実施



各校区まちづくり  
協議会・町内公民  
館連絡協議会  
(計15団体・  
358人)

大牟田医師会  
大牟田商工会議所  
等  
(計28団体・  
442人)

7地区公民館  
(計7会場・  
126人)

参加人数：926人

# 意見交換会・説明会での主な意見要望

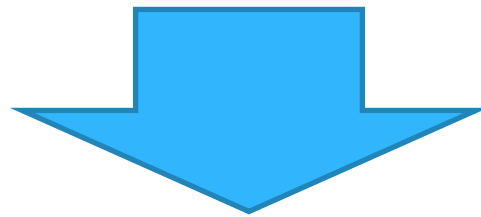
- 建て替えるべきという意見
- バリアフリーやわかりやすさへの対応など機能に関する意見
- 本館を保存・活用すべきという意見
- 事業費や財源、市民負担に関する意見
- 市民意見の集約など、検討の進め方に関する意見
- 現在地以外の敷地の検討など庁舎の位置に関する意見
- 本館の歴史の継承方法に関する意見
- 庁舎の規模に関する意見



# 市議会の取り組み

- ・ **総務委員会での勉強会**
- ・ **委員間討議**

**この二つを実施し、市庁舎の整備について理解を深めた。**



**総務委員会の総意として、総務委員長名で市当局に申し入れを行った。**

# 市議会の取り組み

## 申し入れ ①

2月議会において「関連予算を認めず、条例案を否決」したことを重く受け止めること。

## 申し入れ ②

企業局庁舎を活用し、笹林公園への建て替えを行う案については、新庁舎の延べ床面積の減少・コストの大幅減、敷地面積が広くなることによる設計自由度の向上、設計及び工事期間の短縮に加え、本館の取り扱いに関する協議に時間をかけることができるようになるなどの可能性があることから、この案について試算の上、検討されたい。

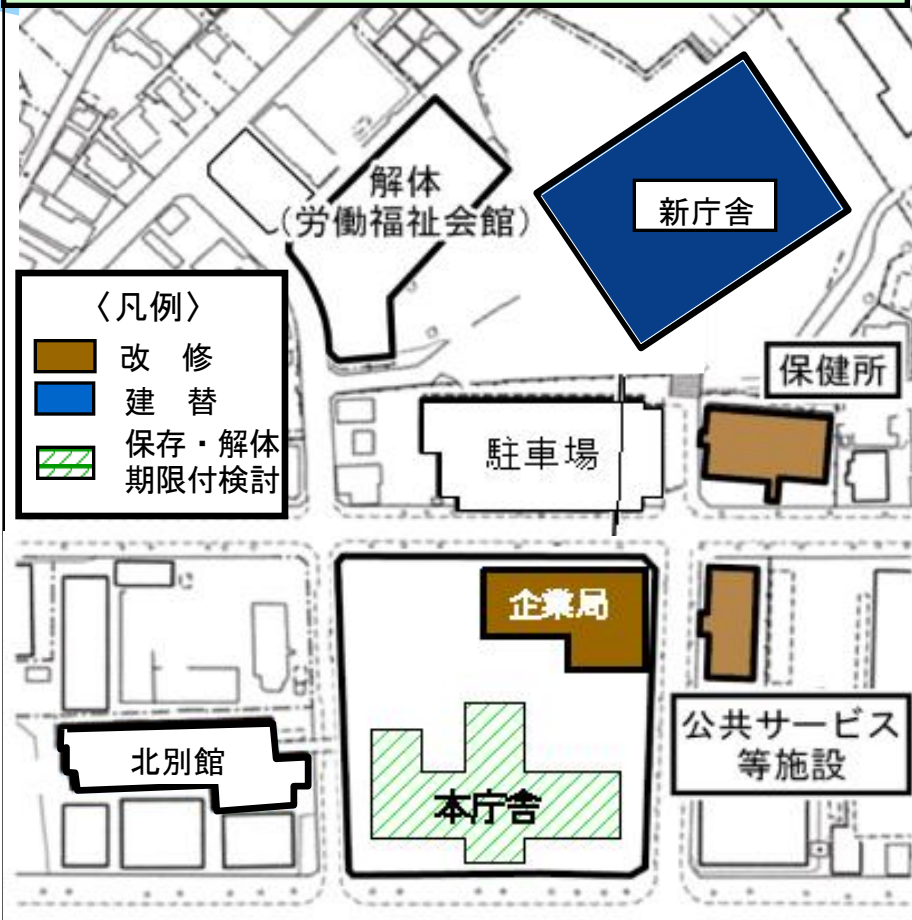
# 当局基本方針案

本館を解体し新庁舎を建設するケース



# 申し入れ案

笹林公園の敷地に新庁舎を建設するケース  
（新館・職員会館解体 企業局改修）



# 考えられる可能性

- ア** 新庁舎の延べ床面積を減らし、建設費用の削減ができる可能性がある。
- イ** 仮庁舎が不要になるため、引っ越しを行う回数が1回で済み、費用の削減ができる可能性がある。
- ウ** 敷地面積が広くなることによる設計自由度の向上、設計及び工事期間の短縮ができる可能性がある。
- エ** 本館の取り扱いに関する協議に時間をかけることができるようになる可能性がある。

# 市議会の取り組み

## 申し入れ ③

本館を耐震改修した場合については、20年後に再度改修工事が必要とのことだが、恒久的な改修が可能だという専門家もいることから、改めて専門家を増やす（これまで参加をされていなかった方も加える）など多方面からの意見を聴取し、検討材料とされたい。また、建て替え事例だけでなく、保存改修にて庁舎整備を行った行政にも視察に行き、情報収集をされたい。

# 市議会の取り組み

## 申し入れ ④

令和元年6月6日の総務委員会において報告されたアンケートの実施については、総務委員長名での申し入れに関する市当局からの回答の後、議論が一定尽くされた段階で改めて実施の是非も含め検討すべき。

現在、総務委員会から出された、別パターンの試算、比較検討を行ってから実施するのが適正であると判断し、申し入れを行いました。

市議会において  
平成30年度中に  
取り組んだ事例



# 市議会の総意として市長に出した 意見・要望（10項目）

- ① 保健所の設置主体の変更
- ② 小中学校の特別教室へのエアコン設置
- ③ 病後児保育事業の再開
- ④ 学童保育所・クラブの充実
- ⑤ 様々な課題を抱える子供たちへの支援
- ⑥ 三池港の利用促進・活用
- ⑦ 地域包括支援センターの人材確保運営
- ⑧ 地域公共交通網形成計画の取組（交通弱者）
- ⑨ 平日時間外小児急患診療の事業安定
- ⑩ 市庁舎整備のあり方比較検討資料の作成・報告



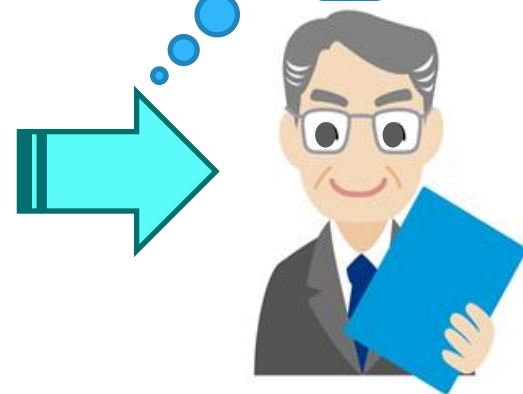


# 小中学校の特別教室への エアコン設置について

## (議会の意見・要望)

各学校の意向調査も行いながら、  
国等の有利な財源が確保できる場  
合にも即応できるように、設置計画  
の策定など準備を進められたい。

意見・要望



市長

# 小中学校の特別教室への エアコン設置について

## (市長からの回答)



市長

財源の検討、近隣自治体の状況、各学校への設置希望教室の調査を行った結果、子供たちの健康上の安全を守り快適な学習環境づくりをより一層進めるため、31年度に各学校1教室ずつ設置することとしたい。

# 防犯灯・街路灯について

## (議会の意見・要望)

防犯灯については、議会報告会などで、多くの市民より維持管理における地域の負担が重いとの声や防犯灯設置費補助事業の補助率の拡充を求められる。



# 防犯灯・街路灯について



市長

**(市長からの回答)**

**電気料負担の軽減からLED化を進める。**

**平成29年度  
補助率を40%⇒50%拡充**

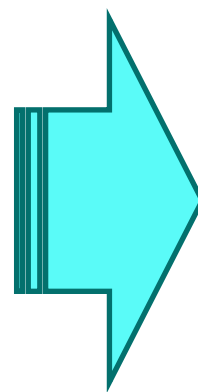
**平成30年度予算案  
設置費補助を100万円増額**

# 防犯灯・街路灯について

## (議会への請願)

平成30年度は、現行の予算では補助申請数に対応できない状況となったことから、『大牟田市明るい町づくり推進協議会の防犯灯設置事業に関する請願書』が

大牟田市明るい町づくり推進協議会  
大牟田市校区コミュニティ連絡協議会  
との連名で市議会宛てに提出されました。



全議員  
総意の  
採択



# 防犯灯・街路灯について

『防犯灯設置費補助事業』と『防犯灯及び街路灯LED化緊急事業（新規）』の予算概要は次のとおりです。

令和元年度予算では、『防犯灯設置費補助事業』として、600万円と新たに『防犯灯及び街路灯LED化緊急事業（新規）』で200万円の計800万円の予算が計上され、2月議会で、可決しました。

『防犯灯及び街路灯LED化緊急事業（新規）』予算は、コミュニティ組織が設置している防犯灯等の早期のLED化を実現するための補助基数の拡大を目的とされています。

ご清聴ありがとうございました。  
皆様のご意見をお聞かせください。

